

法人 いたばし

2023
440
SPRING



今月の
板橋太郎

第16支部 支部長
伊藤 朋弘さん

CONTENTS

- | | |
|-----------|--------------|
| 2 今月の板橋太郎 | 12 青年部会通信 |
| 4 委員会活動報告 | 13 絵はがきコンクール |
| 7 地域講演会 | 14 税務署だより |
| 8 支部・部会報告 | 15 都税事務所通信 |

■板橋法人会ホームページ <http://www.itabashi-houjinkai.or.jp/>
■E-mail info@itabashi-houjinkai.or.jp

※この紙は再生紙を使用しています。



板橋法人会
ホームページ



板橋法人会
フェイスブック



すべては人と人の繋がりにから

お互いを理解し合い

助け合える仲間づくりを

今月の板橋太郎は、有限会社伊藤メディカルの伊藤朋弘さん。

法人会の入会は平成8年。令和3年度より第16支部の支部長を務める。楽しく、魅力ある支部づくりのため、「まずは会員自らが楽しんで活動を！」と声高に唱える。活発な活動で定評のある第16支部の新たなリーダーに話を伺いました。

いとう
伊藤
ともひろ
朋弘さん

プロフィール

- 昭和39年9月23日生まれ。
- 有限会社 伊藤メディカル (板橋区赤塚新町3-30-4) 代表取締役
- 医療用品卸、介護用品小売、開業支援コーディネーター
- 平成29年度 旧第30支部 副支部長 就任
- 令和3年度より支部長(理事) 就任

法人会

活動を楽しみながら
魅力ある支部と仲間づくりを

■コロナ禍での活動を積極的に実施
前支部長の吉田博之さんから引き継ぎ、令和3年度より支部長に就任いたしました。コロナ禍の難しい時期ではありましたが、今年度も会員の皆様のご協力により、社会貢献活動と税の知っ得塾、支部研修会という活動の三本柱すべてを実施することができました。また、第5ブロックの事業として、昨年8月に板橋税務署のご協力をいただき、インボイス制度の特別研修会を実施いたしました。

■会員自らが楽しめる活動を

活動の中で大変なことは様々ありますが、近所のお祭りに人がたくさん集まってくるように、

「法人会でこれだけ楽しいことやっているよ、こういう勉強ができるよ、こういう仲間ができるよ」と、みんな楽しくワイワイやっていると、それに魅力を感じて入会してくれる人たちがいるのではないかと思います。まずは私たちが楽しみなながら活動を続けることが大事だと思います。

■理解し助け合える仲間づくり

人と人の相互理解、コミュニケーションが昔に比べて希薄になっていると思います。お互いの顔を見て、言葉を交わすことで気持ち繋がる、それは仕事でも法人会活動でも同じだと思います。すべては人と人の繋がりにからでることですからね。中小企業を経営する者同士、お互いを理解し合い、協力しながら困ったときは助け合うことができる仲間づくりができればいいなと思っています。

事業

医療支援プロデューサーとして
お客様の信頼を第一に

■創業の経緯と「自身の修業時代

昭和41年、それまで大手製菓メーカーに勤めていた父親が独立して創業。医療機械、医療器具の販売を始めました。私は「早く自分で稼ぎたい」と思いながらアルバイトを掛け持ちし、高校卒業後に工業系の会社に就職しました。21歳の頃に父から話があり、先々父の仕事を終わらせてしまおうのもつたない、そして将来は自分の思うように仕事をしたいと考え、父の会社に入社しました。

■悲しみを乗り越えた先の決意

私が31歳の時に父が他界しました。会社を引き継ぎましたが何もわからず、いかにして得意先を減らさずに家族を養っていくか必死でした。その中で一つ決めたのは「2年間は得意先を1軒も減らさない」こと。やがざるを得ない状況だったからこそ、必ずどうにかなる、どうにかする、必ずやり方はあると考えるようになりました。この経験があったからこそ、今の私があると思っています。

■お客様と共に目的を達成する

信頼関係のあるお客様と相対するのではなく、共に目的を達成する感覚で仕事に取り組んでいます。相手の考えていることを聞きだし、具現化するのが私の仕事です。ご要望にしっかりとお応えするためにも、コ

ンサルティングには時間をかけてお話しさせていただきます。相手の気がつかない部分もこれでもかというぐらい提案します。そこに価値を見出してくれるお客様のために、惜しみなく仕事をさせていただきます。

プライベート

■多彩な趣味とライフワーク

■休日にもっぱらアウトドア派！

仕事関係も含めゴルフが趣味です。その他ボウリング、キャンプ、スキー、船の免許やダイビングのライセンスも持っています。遊び全般好きですが、時間とお金の許せる範囲で楽しんでいます。

■子供たちの笑顔が何よりの喜び

一番下の子にダウン症という障害があり、障害のあるお子さんを持つ保護者の方たちの仲間、毎年イチゴ狩りやキャンプに出掛けたり、海水浴やスキーを企画しています。世の中は障害者も健常者もひとつです。だから、「みんなで楽しもうよ」と。皆さんすごくいい顔を見ながらキャンプファイヤーの炎を見ているんです。その子たちが年々成長していく姿を見るのが何よりうれいのです。

編集後記

笑顔からお人柄が垣間見える伊藤さん。お仕事も法人会活動も「すべては人と人の繋がりがから」という思いが、お話の端々から伝わってきました。

板橋太郎に 一問一答

●学生時代になりたかった職業は？

大工さんか工業系の技術屋さん

●仕事で大切にしている部分は？

先代から引き継いだ得意先1軒1軒を大切に。

●心掛けていることは？

人に優しく、相手の気持ちを考えて行動すること。

●座右の銘は？

人はさだめに生まれ、運命と戦い、使命に生きる。

●好きな映画のジャンル
ターミネーターなど、SFもの。



向かって左、黄色い上下のウェアが伊藤さん。伊藤さんの前、白いズボンが奥様です。

第45回 板橋農業まつり

2日間に渡り開催された板橋農業まつり。3年ぶりの開催ということもあり、会場には大変多くの方がいらしてました。青年部会がブースを出展し「税金クイズ」と「野菜のヘタを使ったスタンプ」を行い、大勢の子どもたちに参加いただきました。

また、初日には野菜の収穫体験の補助も行い、収穫した野菜の重さ当てクイズも行い大盛況でした。

本部からは平野会長が来賓として出席し、オープニングセレモニーに登壇いたしました。セレモニーの後、青年部会のブースに坂本健 板橋区長にもお越しいただきました。



税制改正提言活動

法人会では、公平で健全な税制の実現を目指して会員企業の意見や要望を反映しながら、税のあるべき姿や将来像を見据えて建設的な提言を行っています。

板橋法人会では、平野会長はじめ坂口副会長（事業研修・税制委員長）、浦田副会長（総務委員長）、甲斐事務局長の4名が、坂本健板橋区長と、坂本あずま板橋区議会議長をそれぞれ訪問し、提言書を提出しました。

コロナ禍は最悪期を脱し、我が国も「ウイズコロナ」と呼ばれる共生の段階に入ったとされます。しかし、中小企業は、経営基盤が弱くその後遺症の影響を受けやすいことから、令和5年度の提言書では、経済の土台が揺らがないよう税財政や金融面から実効性ある対策を求めています。



年末調整講習会

大規模集合方式による、国税局主催の年末調整等説明会が開催されなくなったことを受けて、板橋法人会主催による年末調整講習会が、板橋法人会館3階会議室において開催されました。

「年末調整の仕方・法定調書の書き方、税制改正について」をテーマとして行われました。年末調整にあたり注意する事項について、DVDを上映後、テキストを中心に具体的な案件を盛り込んだ説明がありました。

当日は、板橋税務署法人課税第二部門の児玉上席と管理運営第二部門の富岡統括官を講師として説明が行われました。

出席者には、講習会資料の他に、全法連発行の冊子「令和4年分わかりやすい年末調整実務のポイント」が配布されました。



支部・部会対抗チャリティゴルフ大会

武蔵松山カントリークラブにおいて、支部・部会対抗チャリティゴルフ大会を開催しました。

板橋区立文化会館大ホールにて、各支部・部会から4名ずつ計45名(12組)でスタートしました。

当日は森田厚生委員長のもと、参加者の皆様のご協力ですムーズに運営ができて、参加者同士親睦を深めながら、盛況に終えることができました。

参加者の皆様からいただきましたチャリティ寄付金は、公益財団法人板橋区体育協会へ寄付させていただきますました。



▲ 個人優勝 第7支部 長濱克己さん

▲ 団体優勝 第6支部

成績表(上位3位) ■優勝：第6支部 / ■準優勝：第3支部 / ■3位：青年部会

チャリティコンサート「音楽の絵本」

なかなか終息しない新型コロナウイルス。新規感染者数の推移を確認することや、マスクをつけて生活することにも慣れてきてしまいました。

そうした中、昨年12月に、板橋区立文化会館大ホールの収容定員を半分にして、会場内の密を避け、板橋区共催、板橋区文化・国際交流財団後援のチャリティコンサートを実施いたしました。

公演に先立ち、チャリティによる義援金の引渡しが行われ、平野会長より板橋区子ども家庭部子育て支援課村山隆志課長へと手渡されました。

動物たちが演奏する金管楽器とパーカッションが大活躍する、まるでおもちゃ箱をひっくり返したようなカラフルで楽しい音楽が、会場を大いに楽しませてくれました。



板橋税務署長講演会

板橋区立文化会館大ホールにおいて税務六団体主催による「板橋税務署長講演会」を開催しました。

当日は、青色申告会の大戸孝宏会長の司会により進行し、紙屋正文税務署長から「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション」税務行政の将来像2.0」という演題でのご講演をいただきました。

国税庁の「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」に向けた構想の内容や歴史、紙屋署長のご経歴から興味湧く体験等々のお話をいただき、参加者にとって大変意義深い時間となりました。

講演後は、板橋税務署法人課税第一部門川原上席によるインボイス制度の説明会を開催しました。



理事会・情報交換会

トミコシ会館において、第4回理事会と情報交換会が開催されました。

理事会では、令和4年度の各委員会所管事業報告を行いました。

続いて、板橋税務署よりダイレクト納付やインターネットバンキング等を利用した「キャッシュレス納付」についての説明が行われました。

理事会終了後には、情報交換会が開催されました。食事を囲んでの開催は、数年ぶりとなり、どのテーブルも活発な意見交換が見られました。



新年賀詞交歓会

新年賀詞交歓会が板橋区立文化会館において開催され、100名近い参加者のもと、和やかに行われました。

会では平野会長の挨拶に続いて、紙屋正文板橋税務署長、坂本健板橋区長代理の橋本正彦副区長、波田健二板橋都税事務所長、田中良幸板橋納税貯蓄組合連合会会長各氏の来賓祝辞、来賓者のご紹介の後、長谷川副会長による閉会のことばで、一連の行事は無事終了しました。

コロナウィルス感染症拡大予防のため、懇親会は開かれず、式典のみの賀詞交歓会となりましたが、式典終了後、会場内に残った参加者同士での話もはずみ、新年にふさわしい顔合わせの場となりました。



ブロック長会議

板橋法人会館において、初となるブロック長会議が開催されました。

最初に各ブロック長からの現状報告、支部行事に対する取り組みについて発表がありました。コロナの影響で様々な地域活動が制限されている中、税の知っ得塾は多くの支部で実施されたことや、地域の他組織との共催で実施される学校での社会貢献活動も徐々に再開されてきていることが確認できました。現状報告の後、ブロックごとに集まり情報共有いたしました。

ブロック長会議の後、席替えをしてブロックの垣根を超えた情報交換会を実施しました。今後の活動のヒントになる意見が多く出されました。



地域講演会



岸 博幸氏 プロフィール

通商産業省(現・経済産業省)入省後、コロンビア大学経営大学院にてMBAを取得。
竹中平蔵大臣(当時)補佐官、政務秘書官などを務め、構造改革の立案・実行に携わる。

日本の経済が悪い理由について、ロシア・ウクライナの戦争を起因とするエネルギー価格高騰と材料の価格高騰、円安というがそれは誤っている。日本は30年ずっと景気が悪いままで、ここ数年をみても景気の悪さは変わっていない。また、デフレも原因ではない。企業においてのデジタル化についても、海外は早々に取り入れていたが、日本は先進国の中でも断トツの遅りであった。インターネット普及も、日本はかなり出遅れてしまった。

デフレという言い訳のもと、政府にしても大企業にしても昭和の政策のままでいる。公共事業を厚くという考えでいると、企業の生産性は下がり続け、イノベーションの数は減ってしまう。

昨年下半年期では、日本が誇っていたはずの家電が輸入超過となっている。しかし、この悪い流れを断ち切る要素はある。

いま、大きな構造変化が生じている。令和4年2月に起こった、ロシアのウクライナ侵攻は、独裁者・覇権主義国家(ロシア)対民主自由主義国家(ウクライナ)という構図である。北朝鮮、台湾、中東をみても、民主主義国家は世界全体からみても少ない。つまり、ここでグローバル化は1回終わるかも知れない。

金利については、今後日本も上がっていくだろう。リーマンショックから15年、金融資本主義は終わりを告げるだろう。

板橋区立文化会館小ホールにおいて地域講演会を開催しました。講師はテレビ番組のコメンテーターでもお馴染みの岸博幸氏。日本経済のゆくえを世の中の流れとともに、わかりやすく解説いただきました。



新型コロナウイルスが起こしたレアな外的ショックが終息を迎えようとしている。このことが影響し、どういった構造変化が起こるのか。1つは、デジタル化(DX)はさらに進むと考えられる。世界では常識となっていることも、日本ではまだまだ認められていないことが多い。例えば、遠隔勤務は経団連が反対している。遠隔医療は厚生労働省が反対している。遠隔教育については、文科省が反対している。これらは、30年前にすでにできたはずのことである。しかし、コロナをきっかけに日本はこれらの遅れを一気に取り戻すだろう。

2つめは、環境問題(ソーシャル的な要素)、つまりSDGsである。

例えば、在宅勤務をあげると家で過ごす時間が増えることにより、家の広さやエリアの環境、またコミュニティ

などが意識されるようになる。つまり、価値観が多様化してきている。どう対応していくべきかを考えることが重要である。また、デジタル化を進めることにより、生産性が上がる。紙の使用を減らすために、AIやクラウドを活用し、意思決定の迅速化を図ることが求められる。

ベンチャー企業や中堅企業によって、イノベーションを作り出していくしてほしい。それは「全く新しいものを作り出すこと」ではなく、「すでに世の中に存在するものの斬新な組合せ」を発見することである。

ものづくりの板橋区、ぜひとも、中小企業の方々に頑張ってもらいたい。

会場からの質問

- Q サービス業だが人材確保が難しい。どうしたらよいか?
- A 賃金を上げる、もしくは副業を許可し、副業しながらの人を採用する。
- Q 自動車屋だが将来はすべて電気自動車になってしまうのか?
- A まだまだ先の話になると思うが、電気自動車でも対応が出来るような準備は必要であろう。
- Q 介護事業を行っているが、人材確保が大変厳しい。
- A 自分の母親が介護保険を使ってデイサービスを受けたりしているが、やはり賃金が安すぎる。賃金を上げていくしかないと思う。

事務局職員退職

この度、成田京子(左・石川良子(右)は、令和5年3月31日を持ちまして、板橋区社会事務局を退職することになりました。

簡易生命保険の集金担当として、昭和58年に成田が、昭和63年に石川が、それぞれ入社いたしました。入社当時は、集金担当だけでも6名の大所帯。個性あふれるメンバーの中、楽しく仕事を続けることができました。

平成11年に法人会館が完成し、朝日大山マンションから引越。若い新しいメンバーと共に、多くの時を共有できたことに感謝しております。

長きに渡り、今まで本当にありがとうございました。皆様のお祈り申し上げます。



▲長い間、お世話になりました。

税の知っ得塾

11月22日 火

合同による講習会を開催

第8・10支部



今回の「税の知っ得塾」は、第8支部と第10支部の合同で、今年の10月よりスタートする「インボイス制度の概要」についての講習会となりました。法人会組織のブロック制が始まり、ブロック内各支部との横のつながりができて効率合理的の面より実現したものです。今回の合同開催を参考に、各支部の事業行事をブロック内で共有して、より良い法人会活動ができるよう、努力していきたいと思えます。

税の知っ得塾

11月25日 金

インボイス制度について

第6支部



南常盤台一丁目集会所にて、税の知っ得塾を開催しました。当日は、約20名の参加をいただきました。講師は、山口由美税理士にお願いしました。間近に迫った消費税のインボイス制度をテーマに取り上げたため、参加者の皆さんの新制度への関心の高さが伺える講習会となりました。

社会貢献

11月24日 木

クリスマスリースづくり講習会

女性部会



板橋法人会館3階会議室にて開催いたしました。今回は、アロマの香りを自分で選ぶことができ、特にシナモンの香りが皆さんに好評でした。世界最古のスパイスといわれるシナモンですが、シナモンの香りは、身体を温めたり、血流促進したり、身体に優しい効果があるそうです。参加された皆さんは、講師の指導を受けながら、かわいらしく仕上がったリースを笑顔で持ち帰りました。

支部研修

12月2日 金

豊洲市場と東京湾シンフォニークルーズ

第17支部



コロナの影響で数年ぶりとなる日帰り研修会を行いました。初参加の方を含めて28名の方にお申し込みいただきました。豊洲市場を見学した後、クルーズ船上では、お互いに感染対策を守りながらですがお酒を交わしながらの非常にアットホームな雰囲気の中、大変リラックスしながら親睦も深まり、終始和やかな中帰路につきました。やはり、直に顔を合わせての会話は素晴らしいなと思えました。

税の知っ得塾

12月3日 土

有意義な講習会でした

第16支部



税の知っ得塾が下赤塚地域センターで開催されました。

講師は、安井教雄税理士で、仕入税額控除のインボイス制度についてわかりやすくお話しいただきました。コロナ禍ということもあり、感染防止対策を講じながらの開催となりましたが、24名の方に参加いただきました。

終了後、活発な質疑応答があり、とても有意義だったと好評のうちに終了しました。

税の知っ得塾

12月7日 水

インボイス制度について

第11支部



かごの屋高島平店において、税の知っ得塾を開催し、インボイス制度をテーマに小池哲夫税理士に講義いただきました。終了後の懇談会は、講義についての質問のほか、参加者同士話が弾んでいました。

コロナの影響により、支部の皆さんとも会う機会が少なくなり、今回の税の知っ得塾を機会に久しぶりにお会いする方も多くいらっしゃいました。とても貴重な機会になったと思います。

社会貢献

12月6日 火

出張ボーカルコンサート

第1支部



20回目を迎える出張ヴォーカルコンサートを金沢小学校で開催しました。コロナの影響もあり、中止となっていた時期もありましたが、同日2回公演に分けて全学年が観賞しました。季節柄、サンタクロースご一行の衣装に身を包んで登場し、クリスマスソングで始まり、デイズニーソング、更にクラシックのオペラから数曲、体育館だけでなく学校中に響き渡る圧巻の音量にて、楽しく盛り上がったコンサートとなりました。

観劇会

12月8日 木

十二月大歌舞伎

女性部会



コロナ禍の自粛も緩和され始めた12月、30名の参加をいただき観劇会が歌舞伎座にて行われました。

市川海老蔵改め十三代目市川團十郎白猿襲名披露の「十二月大歌舞伎」夜の部は、襲名披露の「口上」に始まり、「團十郎娘」そして、代々團十郎襲名で上演された成田屋の家の芸「助六由縁江戸桜」、助六を團十郎、揚巻を玉三郎、里暁を猿之助、白玉を菊之助の華やかな舞台を堪能しました。

税の知っ得塾

12月9日金

適格請求書等保存方式

第13支部



西台の和唐にて、年末にもかかわらず25名の参加をいただき、関心の高さが伺えた税の知っ得塾でした。講師に、東京税理士会の岡東聡税理士にお願いをいただき、わかり易い内容でした。今まで免税事業者は恵まれていた訳で、制度が実施されると税の平等に近づき、税収増が望まれる制度ではないでしょうか。

しかし導入の延期や負担軽減措置等の柔軟な運用を望むところです。

社会貢献

12月17日土

加茂下稔と ゆかいな仲間たち

第1支部



金沢小学校に続き、板橋第四小学校にて実施しました。板四小では5年生が現場観賞、その他の学年はライブによるオンライン観賞となりました。日本を代表するテノール歌手、加茂下稔先生率いるお弟子さん達によるヴォーカルコンサートは、通称「加茂下稔とゆかいな仲間たち」と題して行われました。子供達が喜ぶ姿を見る事が出来て、少しでも地域社会に貢献できたのではないかと思ったイベントでした。

税の知っ得塾

12月12日月

インボイス制度の 概要について

第7支部



昨年の12月、上板南口銀座商店街振興組合事務所において「税の知っ得塾」を開催しました。

講師には、当支部所属の小野聡司先生をお招きし、インボイス制度の概要について、消費税の仕組みや計算の仕方、仕入先がインボイスを発行してくれないときに課税事業者である自社がどのように困るかなどを、大変わかりやすく説明していただきました。

社会貢献

12月20日火

新河岸ミュージカル

第13支部



今年で13回目を迎える新河岸ミュージカル。平成20年から続く継続事業で、コロナの影響により2年間延期されていた事業です。演目は劇団シアタージャパンによる「注文の多い料理店」。午前と午後の2公演により、新河岸小学校全校児童に観劇いただきました。開演前には、板橋税務署出原統括官と馬場事務官による税金クイズを実施しました。

情操教育と租税教育の合わさった支部社会貢献活動となりました。



新年懇談会

1月27日 金

3年ぶりの新年懇談会

女性部会



コロナ禍で多くの行事が中止となっておりましたが、ようやくの活動再開にとっても嬉しく思います。まずは余興として、ギターとバイオリンの素晴らしい演奏を楽しみました。懇談会でホテル椿山荘東京の美味しい会席料理をいただき、皆様にもとても喜んでいただきました。最後のお楽しみは抽選会。豪華でお洒落で素敵な景品が当たります。アツという間の3時間ですが、とても素晴らしい時間を過ごさせていただきました。

社会貢献

1月14日 土

音のおもちや箱

第17支部



旅する音楽家「デュオ三木」をお招きし、コンサートを実施しました。演奏は60分にわたり、デュオ三木の軽妙なトーンに笑いも起き、地域の方々に喜んでいただけたと思います。今回は、教育委員会の後援をいただき、幼稚園や保育所にチラシを配布したことにより、来場者が例年より増え、子どもたちとそのご家族合わせて約150名の方々にお願いいただきました。

社会貢献

1月21日 土

赤塚寄席を開催

第16支部



下赤塚地域センター・レクホールにおいて社会貢献事業「赤塚寄席」を開催し、66人の来客を得ました。演目は、神田織音師匠による講演です。師匠ご自身が区内在住で、大山福地蔵尊にまつわる話のほか、後段の人情話では、皆さん物音一つ立てず聴き入って、会場全体が静かな緊張感に溢れていました。

定例講習会

2月3日 金

PC・スマホを 活用した確定申告

源泉部会



板橋税務署3階会議室において、板橋税務署法人課税第二部門の児玉上席を講師に開催しました。「国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」を利用して給与所得者の還付申告書の作成」と「スマートフォンによるe-Tax解説」をテーマとして行われました。画面遷移や入力画面について、パソコンを実際に操作しながらの講習会となりました。希望者には、配布資料が入手出来る、WebページのURLを公開しました。

新年会

1月18日(水) 3年ぶりの新年会を池袋のリビエラ東京にて開催しました。コロナが少し落ち着きを見せ始めている中、それでも警戒をしつつ開催しましたが、当日は46名の方にご参加いただきました。久しぶりにお会いする方も多く、会場は大変盛り上がりしました。

楽しいお話はもちろんですが、「コロナ禍でお仕事のかじ取りをどう行ったか」等の会話をされている会員さんもいて、楽しい中でも有意義な時間を過ごすことができました。

KMサトウ自動車(株) 佐藤 竹記

宿泊研修会

2月18日(土)～19日(日)、宿泊研修会を開催しました。約3年ぶりの開催ということで新たな仲間も加わり、新鮮な気持ちで楽しむことができました。

行程をシンプルにした分、参加者全員が宿泊施設でゆっくり過ごしました。宴会場での夕食の後、二次会での語らいの場を持つことで、より一層の交流を深めることができました。

コロナ禍の難しい時期を乗り越えてきたこともあり、お互い長い時間をかけて語り合うことがとても楽しく、それぞれが普段とは違う一面を見ることができました。とても印象深い宿泊研修会でした。

(有)岩淵工務店 岩淵 順



青年部会は今年も突っ走ります!!



税の教室(金沢小学校)

1月21日(土)、金沢小学校4年生の皆さんに租税教室を開催しました。第一部では、恒例の奇案亭蔵彦さん(社会貢献委員長・片岡耕一さん)による税金落語を披露、第二部では「税金パネル」を実施。子供たちは終始笑顔が絶えず、積極的に回答しながら真剣に税金の必要性を勉強していました。今後もブラッシュアップを重ねながら、子供たちに分かりやすく解説できるようにしていきたいと思えます。

八城商事(株) 川口 繁



2月度定例会&

税のワンポイントレックス

2月7日(火)、板橋税務署法人課税第1部 門川原上席を講師にお招きし、「電子帳簿保存法およびインボイス制度について」のテーマで、電子帳簿等保存、スキヤナ保存、電子データ保存についてお話を聞き、10月からの運用に間に合うよう、もう少し勉強が必要だと感じました。

(有)エモーション 坂本 真一



新春チャリティゴルフコンペ

1月26日(木)、オリムピックナショナルゴルフクラブWESTコースにて新春チャリティゴルフコンペを開催しました。大寒の厳しい寒さの中でのプレーでしたが、諸先輩方を始め、素敵なメンバーに恵まれて有意義な一日となりました。開催の企画運営に携わった皆様、ありがとうございました。

(株)KDM 高橋 広樹



メンバーズフォーラム最新作、YouTubeにて配信中!

会員のお仕事や活動を紹介するメンバーズフォーラム。



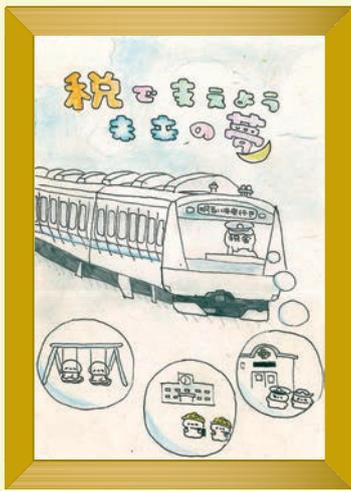
最新作は高津興業(株)の高津将弘さんです。是非ご覧ください!



高津興業株式会社 高津将弘さん

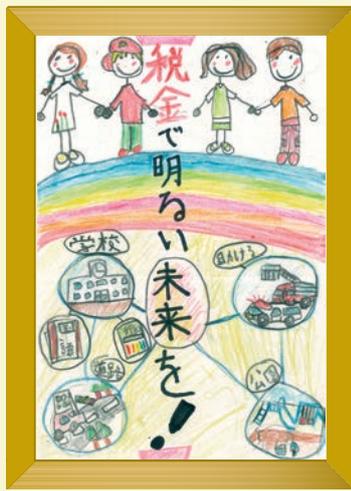
税に関する絵はがきコンクール

板橋法人会女性部会では、小学生への租税教育活動として「税に関する絵はがきコンクール」を実施しています。将来を担う子供たちに「税の大切さ、や「税の果たす役割、について正しく認識してもらうとともに、その知識や感想を絵はがきにすることで、税に対する理解をより深めてもらうことが目的です。今年度も多数ご参加をいただき、ありがとうございました。次回の「税に関する絵はがきコンクール」は、令和5年6月から募集を開始いたします。詳しくは、5月以降に板橋法人会ホームページに掲載いたします。7月発行予定の法人いたばしでもご案内いたしますので、ご確認ください。



金賞 (女性部会長賞)

阿部 夏帆さん 中根橋小学校 5年生



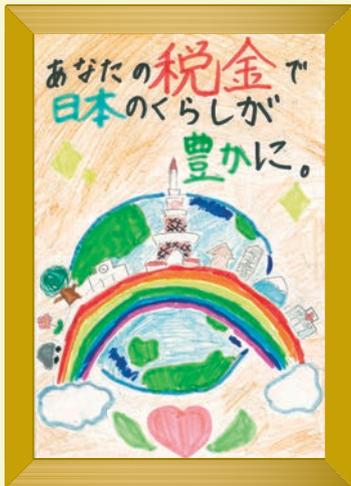
金賞 (板橋法人会長賞)

工藤 大雅さん 上板橋第四小学校 6年生



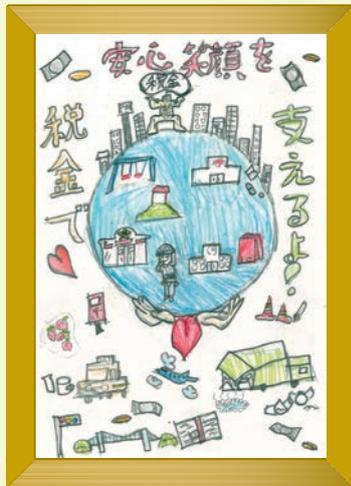
金賞 (板橋税務署長賞)

小泉 風花さん 中根橋小学校 5年生



銀賞

加賀 桜佳さん 中根橋小学校 5年生



銀賞

小島 綺生さん 中根橋小学校 5年生



銀賞

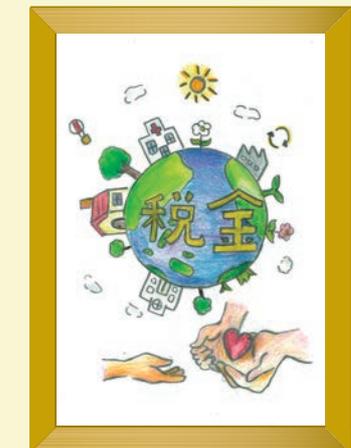
田村 希さん 中根橋小学校 5年生



岩崎 理恩さん 中根橋小学校 5年生



木下 敢登さん 上板橋第四小学校 6年生

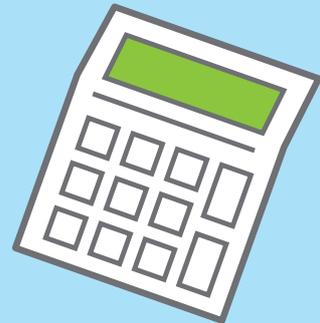


銅賞

野口 望叶さん 中根橋小学校 5年生



インボイス制度 令和5年10月開始



詳しくは



国税庁HPインボイス制度特設サイト

インボイス制度の概要に関する各種資料、申請手続きに関することやQ&A等を掲載しています。
登録申請書を提出してから登録通知までの期間の目安を確認できます。

特設サイト



インボイスコールセンター

0120-205-553 (無料) 9:00~17:00 (土日祝除く)

インボイス制度に関する一般的なご質問に対応しております。
※個別相談は所轄の税務署にお電話ください。



各種補助金のお知らせ

インボイス制度に対応するためのソフト・ハード等の導入費用等にIT導入補助金による支援があります。

IT導入補助金
リーフレット



小規模事業者
持続化補助金
リーフレット



国 税 庁 【法人番号】 7000012050002



インボイス制度の支援措置についてのお知らせです。

日頃から税務行政に多大なるご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。
インボイス制度は、今年 10 月 1 日から開始されます。法人会会員の皆様、インボイス制度の開始に当たってのご準備は順調に進んでいますでしょうか？支援措置も含め、ご質問等がございましたら、上記各種窓口をご利用ください。税務署では、4 月以降も説明会を開催していますので、ご出席をお待ちしています！
法人課税第一部門 統括官 出原 奈都子

～都税についてのお知らせ～

4月から固定資産税における土地・家屋の価格などがご覧になれます(23区内)

縦覧期間	令和5年4月3日(月)から6月30日(金)まで(土日休日を除く。)
縦覧時間	午前8時30分から午後5時まで
縦覧場所	土地・家屋が所在する区にある都税事務所
縦覧できる方	令和5年1月1日現在、23区内に土地・家屋を所有する納税者の方
縦覧できる内容	所有資産が所在する区で課税されている土地・家屋の価格など(縦覧帳簿)
必要書類	納税者本人であることを証明できるもの ※運転免許証、旅券(パスポート)等、官公署が発行した顔写真付きの書類であれば1種類の提示、それ以外の書類は複数の提示が必要です。詳細は東京都主税局のホームページをご覧くださいか、土地・家屋が所在する区にある各都税事務所にお問い合わせください、

(注) 納税通知書は6月1日(木)に発送予定です。

東京都主税局では、本人へのなりすましなどにより、不正な目的で公簿の閲覧及び証明の申請を行うことを防止し、納税者の皆様の個人情報保護を図るために、縦覧時の本人確認等を厳格に行っております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※縦覧制度の詳細は、
主税局ホームページをご覧ください。



主税局 HP (縦覧について)



主税局 HP (本人確認方法について)

都税の証明等をスマホで申請できる スマート申請 はじめました!

専用アプリをダウンロードすると、3ステップで手続完了

1 申請情報の入力

2 マイナンバー
カード読み取り



3 クレジットカード
情報の入力

申請は東京都主税局HPからアクセス

東京都 証明 🔍



令和5年度もどうぞよろしくお願いいたします

「法人いたばし」では、毎回都税広報事項を掲載していただいております。長年にわたり、都税情報の周知・広報にご協力いただき誠にありがとうございます。今後も納期やキャッシュレス納付など、様々な情報を発信する予定です。また、板橋法人会ホームページでも掲載していただいておりますので、そちらも併せてご覧ください。

板橋都税事務所 副所長 山口 達夫

法人会新規加入者ご紹介

支部	法人名	所在地	電話番号	担当者	業種	推薦
1	(株) かんぽ生命保険 東京新都心支店	新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 13 階	5990-5486	柴田 靖夫	生命保険業	本人
2	(株) KDM	板橋区大山西町 52-14 CASA 大山 402	6909-4185	高橋 広樹	飲食・農業	第4支部 鈴木 達也
PR 温故知新で心革新を興すを企業理念とし、自社にて生産と消費を循環させ、田舎と都会を連携させております。						
6	メゾクレア(合)	板橋区南常盤台 1-11-6-101	050-3503-5111	高橋 隆幸	ソフトウェア開発	AIG 國安 徹
10	(株) OHTANI	板橋区前野町 4-52-5 ヒルクレスト北澤 102	6356-5647	大谷 龍一	建築工事業	AIG 國安 徹
PR 弊社のリフォーム及びリノベーションは全て自社施工です。些細なことでもお気軽にご相談ください。						
11	オペラント労働・ 経営総合事務所	千代田区九段南 1-5-6 りそなビル 5 階	090-9688-6271	本間 敬孝	人事・労務コンサルタント	本人
PR 残業時間を減らしたい。同一労働同一賃金を知りたいなど労務問題で困っているときに、必ずお役に立ちます。						
13	Dool(合)	板橋区舟渡 1-1-22 キャッスルビル浮間舟渡 204	080-9381-0901	齊藤 広樹	サービス業	第13支部役員 齊藤 勝久
PR 弊社は採用にお困りの企業向け、求人に強いホームページの製作を行っております。お気軽にご相談ください。						

従業員の退職金準備は

東法連特定退職金共済制度

東法連特定退職金共済制度が選ばれる7つの理由!

- その1 東京都内の事業所であれば企業規模を問わず加入できます
- その2 従業員のための退職金を計画的に準備できます
- その3 掛金は1人月額1,000円から30,000円まで設定できます
- その4 掛金は全額損金または必要経費に算入でき給与所得にもなりません
- その5 退職一時金は退職所得控除の対象になります
- その6 ご加入後1ヵ月で退職しても退職金が支払われます
- その7 簡単な申込手順で加入できます

公益財団法人 東法連特定退職金共済会とは

- 東京法人会連合会(東法連)が母体となって1977年に財団法人として設立され、2012年10月に東京都知事の公益認定を受けて公益財団法人に移行しました。
- 所得税法施行令第73条に定められた「特定退職金共済団体」として、税務署の承認を受けて共済事業を行っています。現在、約4,700社の事業所の皆さまにご利用いただいています。

○この制度は、大同生命保険株式会社と締結した「新企業年金保険契約」に基づいて運営しています。
○このご案内は、2021年10月現在の制度内容および税制に基づき記載されており、内容は将来変更されることがあります。
○ご加入にあたっては、必ず所定のパンフレットをご確認ください。

企F-2021-0003(2021年10月27日)P6965

資料請求・
お問い合わせは

TTK 公益 東法連特定退職金共済会
財団法人

〒180-0002 東京都新宿区四谷坂町5番6号 全法連会館3階
TEL (03)3357-1641 FAX (03)3357-1642
<https://www.tohoren-tokutalkyo.or.jp/>



表紙写真について

タイトル：春の板橋
撮影者：板橋大好きさん
撮影場所：板橋
住所：板橋区本町 28・29

コメント

旧中山道の仲宿付近、石神井川に架かっている板橋の地名の由来となったと言われる橋です。板橋十景に選ばれており、春には石神井川の沿道に桜の花が咲き誇ります。